

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

仕事からしか幸福は得られない 鎌田 浩毅 (京都大学大学院教授)

1. ヒルティ著「幸福論」(斉藤栄治編)で著者は、仕事や人付き合いの中で役に立つ技術を懇切丁寧に語る。たとえば、「気分が乗らないから」などと理由をつけて動かないのでは何も始まらない。「計画をもっと詰めてから」とぐずぐずしては、時間ばかりが流れていく。だから著者は、何はともあれ開始せよと説く。言い訳ばかりしていないで、今すぐに可能なことを部分的でもよいから始めよと言うのである。
2. 気分が乗ってから始まる仕事などない。始めてしまえば頭は動き出し、考えはまとまってくる。この助言は仕事をスタートする際の極意であり、私もつねに活用している方法だ。たゆまず動き、少しずつでも進めていくと、いつしか仕事は完成が見えてくる。いかなる仕事でも真剣に行えば興味が湧いてくる。こうした仕事を持っていないことは、不幸である。
3. 「仕事の種類が幸福にするのではなくて、創造と成功の歓喜が幸福にする。最大の不幸は、仕事のない生活であり、生涯の終わりにその実りを見ることのない生活である」。著者の幸福論の根本には、仕事からしか幸福は得られないという考えがある。いくらおカネに不自由しなくとも遊びばかりの人生ではつまらない。享樂は必ず飽きる。いちばんの幸福は、自分に与えられた仕事を一生懸命にこなすことから得られる。

(参考:「週刊東洋経済」2010年3月13日号)

経営者のための危機管理

社長が裸の王様にならないための心得

1. 外部の声に耳を傾ける
会社の常識は、社会の非常識であることが少なくない。社長は外部の人の声に耳を傾けるべし。
2. 株主は敵ではない、社会の目と思え
株主は本来、敵対する存在ではない。株主に対して説明責任を果たすことで、透明性は高まる。
3. 社外取締役は真剣に選ぶ
外部の目を代表する社外取締役は、単なる肩書きではなく、その人物を見極めて選ぶ。
4. 会社の目的を明確にする
何のために会社が存在するのか、存在理由を明確にすべき。そうすれば自然に取締役会の姿も見えてくる。

(参考:「日経ビジネス」:2010年3月8日号)

新規成長分野

農産物直売所の躍進

1. 真冬のような気温が続いた今春、メディアをにぎわせた「小売店」がある。農産物の直売所だ。茨城県つくば市にある「みずほの村市場」も人気の高い直売所の1つだ。開業は1990年と大型直売所としては「老舗」の部類に入る。運営するのは農業法人みずほ。現在は46の農家が参加。開業以来、売上高は順調に伸び続け、2009年は初めて6億円を超えた。
2. 店内に華やかな装飾はない。その代わりに、入り口のすぐそばに掲げられている農家の方々の顔写真が目立つ。販売している農産物のほとんどには、「〇〇さんちのキュウリ」といったように、作った農家の名前が入った手書きのPOPが置かれている。大型の直売所の中にはスーパーと競合するほどの力を持つところが出てきた。

(参考:「WEDGE」2010年6月号)

古典に学ぶ

敬について

「そもそも人間というものは、単なる理論だけで立派な人間になれるものではありません。真に自分を鍛えるのは、一人の優れた人格を尊敬するに至って初めて現実の力を持ち始めるのです。同時にこのように一人の生きた人格を尊敬して、自己を磨いていこうとし始めた時、その態度を敬というのです」

(参考:森 信三「修身教授録抄」:致知出版社)